

かわらばん

第 62 号 2025 年 10 月 13 日



＜このディストピアな社会に いま思うこと＞

高市早苗が首相になったらば……坂元良江
戦後八〇年、この夏日本社会を覆う景色は……村山千津子
ガザを置き去りにするメディア……角田由紀子
無力を嘆く前に……三井富美代

核抑止（論）とは何か……林 克行
小説『フランケンシュタイン』と、作者メアリ・シェリーのこと……江崎泰子
CINEMA あなたは映画『黒川の女たち』を見ましたか……丹羽雅代

【お知らせ】 Colabo が新しいプロジェクトを立ち上げ

このディストピアな社会に いま思うこと

高市早苗が首相になったらば

坂元良江

自民党総裁選の話題でテレビも新聞も賑わっている。過半数割れとはいえ自民党は第一党、将来の首相を選んでいくわけだ。五人の候補者たちは誰も自分の意見を述べたり主張をしたりはせずむしろそれを隠して党内事情に付度して平均的な党の方針を語るばかりだ。

高市早苗は選択的夫婦別姓には反対の立場をはっきりさせていることはよく知られている。彼女の政権になったら夫婦別姓は実現しない。

高市早苗は八月一五日には靖国神社に参拝し、太平洋戦争の戦争加害責任を認めずアジアの国々とのさらなる摩擦を引き起こすだろう。

高市早苗は自衛隊を憲法に書

きいれることを主張しており、憲法九条を危うくする憲法改定をすすめるだろう。

高市早苗は二〇一六年総務大臣だった時の国会答弁で放送局が時の政権が要請しても公平性を欠く番組を放送し続けるなら電波を止めることもあり得ると答えている。「停波」を語った総務大臣であることを思い出そう。時の政権にとつての「公平性」とは何だろうか。高市政権になったら、放送局は「停波」をおそれて付度し、権力の監視役であるジャーナリズムの役割を捨てるかもしれない。

高市早苗は女性であるばかりに「初の女性首相誕生」と持ち上げられることになるだろう。

日本の最初の女性首相が高市早苗であつてほしくないと思う女性たちは多いだろう。

高市早苗だけには絶対に自民党総裁になつて欲しくない。その関心のみで自民党総裁選の行方から目を離せないでいる。

(二〇二五年九月二八日)

〔追記〕

とうとう高市早苗が自民党総裁に決まつてしまった。長老麻生、鈴木に両腕支えられ、やはり女には無理だという評判だけを残すことになるのではないだろうか。

(二〇二五年一〇月九日)

戦後八〇年、この夏日本社会を覆う景色は

村山千津子

○今年七月三十一日号の『週刊新潮』に「創氏改名2・0」と題した記事が掲載された。右派コラムニストで元産経新聞記者の高山正之氏が自身の連載コラム「変見自

在」のなかで「日本も嫌い、日本人も嫌いは勝手だが、ならばせめて日本名を使うな」などと深沢潮さんや水原希子さんらの実名を挙げて、在日中国・コリアンに対して聞くに堪えない言葉で攻撃を行った事件だ。深沢さんは「差別的かつ人権侵害にあたる」と新潮社に抗議し、多くの作家・言論人が深沢さんへの賛同を示したが、新潮社は真摯な謝罪もなく、差別的記事だと認めないままコラムの終了を発表。高山氏はその後も極右雑誌『WILL』で同様の主張を繰り返しているという。

この記事はもちろん内容自体が憎悪に満ちた民族差別の煽動といえるが、まず「創氏改名2・0」というタイトルを見て、今この時代にこのような言葉を使用するこ

とが許されているのかとそのことがショックだった。日本帝国主義の朝鮮統治下において「皇民化政策」の一つとして朝鮮人に日本式の姓名を名乗ることを強要した、日本の植民地加害を表す言葉である。「のりこえねつと」の辛淑玉さんはこのタイトルを指して、ヨーロッパにおける「ガス室2・0」と同義語だと述べている。

○八月に開催された第九回アフリカ開発会議(TICAD9)で、JICA(独立行政法人国際協力機構)は、「JICAアフリカ・ホームタウン」構想を発表。千葉県木更津市はナイジェリア、山形県長井市がタンザニア、新潟県三条市はガーナ、愛媛県今治市はモザンビークと、それぞれ交流事業を行うというものだった。

TICAD(Tokyo International Conference on African Development)はアフリカの開発をテーマとする国際会議で、一九九三年以降、日本政府が主導し、国連、国連開発計画(UNDP)、世界銀行およびアフリカ連

合委員会(AUC)と共同で開催している。今回の「ホームタウン」構想を聞いたときには別にこれが特別なことではなく、アフリカの国々と日本の都市が友好関係をさらに深めていくための試みだろうと考えていた。ところが、この構想について相手国の誤解による報道があつたとはいえ、SNS上であつという間に「移民政策だ」「領土を差し出した」などというデマが横行し、「JICAホームタウン認定を撤回してほしい」などの電話やメールが各自治体に殺到して職員の業務が立ち行かなくなるという事態にまで発展。まだ始まつてもいないのにJICAは九月二五日にこの構想の白紙撤回を発表した。

そもそも今回四つの自治体が対象となつたのは、元々ビジネスやスポーツなどを通して交流があつたからだという。長年培ってきた姉妹都市関係が誤解やデマ、差別意識と憎悪によつてかくももろく崩れてしまうありさまに呆然とする。白紙撤回後も「移民反対デモ」まで行われたというが、集つ

た人々の主張はアフリカへのむき出しの差別・偏見に満ちたもので、日の丸や旭日旗が翻る光景に目を覆いたくなった。

今年急速に顕わとなってきた外国人憎悪という「本音」は、極右政党の伸張とそれを取り込んだ与党自民党の「外国人対策」によって現在ますますその負のエネルギーが拡散しているように感じる。

ところで「外国人」とは誰のことか。長年沖縄で性犯罪や暴力事件を繰り返し、人々を苦しめてきた米軍基地の兵士に向かって、「国へ帰れ」と叫ぶ日本人はいるのだろうか。

(二〇二五年一〇月二日)

ガザを置き去りにするメディア

角田由紀子

日本のメディアは今回の自民党総裁選挙では自民党のお抱え組織であることを遺憾なく発揮した。例によって公共放送を一応名乗るNHKもだ。ショックだったのはいつも報道内容に共感することの多いBS-TBSの「報道1930」までもが、茂木に始まり、毎回候補者を一人ずつスタジオに招いて独演会をたつぷりとやらせたことだ。これはキャスターの意思ではなかったと思いたいが後味が悪かった。しかも、今、世界中で大問題となっているガザのジェノサイドについては候補者全員が一言も触れなかったことだ。候補者に質問をするのだから、彼らが触れなくても聞き手は聞くべきだった。もしそんなことをしたら自分の首が危ないという状況なのか。目を海外に転ずれば、大規模デモがあちこちで行われている。そのことも報じたのは「赤旗」

だけだったかもしれない。「赤旗」(九月二四日)によれば、イタリアでは首都ローマでのデモ行進には労働者と学生など五万人が参加し、イスラエルへの武器輸出を終わらせようと訴えた。北西部ジェノバでは、港湾労働者が港の入口を封鎖し、「武器輸出とイスラエルへの共犯を終わらせよう」「戦争のためには働かない」と訴えたとのことだ。

メディアが自民党総裁選でにぎわっている間にもガザでは毎日市民が殺され、赤ん坊も子どもも殺され続けた。テレビは毎日、スポーツに相当な時間を割いて、アメリカでの大谷選手のホームランの数と活躍ぶりを詳しく報じている。大谷選手のホームランの数はファーンには大事な情報かもしれないが、その一方でガザで毎日殺される人々のことには無関心とは一体どういうことかと憤り呆れる。平和でなければ野球もできないということくらいはせめて認識して、リアルタイムでのジェノサイドを考えてほしい。

(二〇二五年一〇月四日)

無力を嘆く前に

三井富美代

こんなデイストピアな世の中だからこそ、ユートピアをあきらめてはいけない、とある友人に教わった。彼女はいくつか新人賞をとったものの作家としては無名に近い。そこで小さな出版社を起こし、あまり世に知られていない女性作家や画家の作品を載せた文芸誌などをこつこつ発行し続けている。先日は『妻の座』を「熱烈解説」つきで出版した(けいこう舎)。作者は『二十四の瞳』の壺井栄さん。家父長制、シャドウワーク、女性蔑視、性別役割分業、ルッキズム等々、女を縛り分断し貶める世のならい、その理不尽を憤りをこめて描いた小説だ。書かれたのは昭和二二年頃。時が過ぎていま、群衆の前に「私をみなさんのお母さんにしてください」と叫んだ女性性が国会議員になり、ジェンダー平等批判層の支持を受けた女性の自民党総裁が誕生した。いったい

社会は進歩しているのか後退したのか混乱するが、何事も放置していたら劣化してしまうということだろう。ユートピアを実現しようと思えば、女たちが苦勞して手に入れた良きもの、良きことをまづはしっかり掴んで手放さないようにしなければ。そして磨き続けなくちゃいけないんだ。

外国人嫌悪・差別・排斥の“空気が汚泥のシミのように日本社会に広がっている。一方でテレビやネットは、砲弾によって破壊され崩壊した都市を、母親に抱かれたまま飢えて死ぬ子どもたちを、銃眼から逃げまどい殺される人々を、食料も医療品も届かないディストピアそのものの光景を毎日映し出す。国境なき医師団現地スタッフの必死の訴えが胸に突き刺さる。世界中のあちこちで続く戦争・暴虐を目前にして無力を恥じる。できることを何かするしかない。たとえ砂粒一つ動かす力にしかないにしても。

小さな希望がないわけでもない。雑誌「地平」十一月号(地平社)

特集1「左派は復活できるか」では、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランスなどで仄見える市民の新しい動きを伝えてくれている。また特集2「隣人である移民」も、私たちに何かできること、すべきことがあると教えてくれている。他にも読みでのある記事がたくさん。このような雑誌を応援することもできることの一つだ。

核抑止(論)とは何か

林 克行

(フリーエディター)

核軍拡を促進する核抑止論

広島・長崎が核兵器による惨禍を被ってから八〇年を経た今日、わが国でも「核抑止」論が大手を振って罷り通っています。石破前政権は、二〇二四年の日米閣僚会議で「拡大核抑止」(アメリカの核の傘)を強調し、参政党は「核武装が最も安上がりで、安全を強化する」と主張しています。

ところで、「核抑止」(nuclear deterrence)とはどんな説でしょうか。『広辞苑』では、「核兵器によつて相手国を恐れさせ、攻撃を思いとどませるとして核兵器保有を正当化する説」とあります。Deferenceには、「おじけづかせる」という意味もあるので、「核威嚇」「核恫喝」と言い換えたほうが分かりやすいでしょう。すな

わち、相手国に核兵器の保有・使用能力があることを分からせ、核攻撃をしたら核兵器で反撃するぞと脅かせば、核兵器はお互いに使えなくなり核戦争は回避できるという説です。

この説を大義名分として、世界の核保有国の核軍備は拡大傾向にあります。信頼性の高いデータ検証・分析を行っているSIPRI(ストックホルム国際平和研究所)の今年の年次報告書は、①二〇二五年一月現在、世界全体で一万二四〇〇発の核弾頭が備蓄されていて、うち九〇%はアメリカ・ロシア二国で占める。②二六年二月に新START(戦略攻撃兵器の削減・制限に関する二〇一〇年の米口条約)が失効すれば、核軍備は拡大するだろう。③冷戦終結以来続いた核兵器削減の時代が終

わり、核兵器増大、軍備管理協定の放棄への明確な流れがあるとしています。

こうした流れの背景には、核威嚇を繰り返すプーチンが核ドクトリンを改定して核使用のハードルを引き下げたり、トランプ政権やNATOが核抑止力の強化を図り、マクロン仏大統領は欧州に核の傘を提供する意思を表明するなどの国際的緊張の激化があるのは、言うまでもありません。

核抑止論は正しいのか

それでは、核抑止論に正当性はあるのでしょうか、もちろんノーです。以下、検討してみましょう。

まず第一に、ノーベル平和賞を受賞した日本被団協（日本原水爆被害者団体協議会）が、繰り返し訴えているように、核兵器は究極の非人道的兵器であることです。核抑止論は、そうした兵器を開発・貯蔵・配備し恫喝することを前提にしているのです。毒ガスや化学兵器が禁止されているのに、究極の破壊的兵器の核兵器が九つの国

で保有されていること自体が非難されるべきなのです。

第二に、核抑止論は、核兵器の脅威を振りかざして相手の国と自国の国民の双方をいわず人質として取り合うようなものです。国家権力が、国民の命や生活を人質にしてその政策を推進すること自体が非人道的と言わざるを得ません。核抑止論には、その論自体に非人道性が内在しているのです。

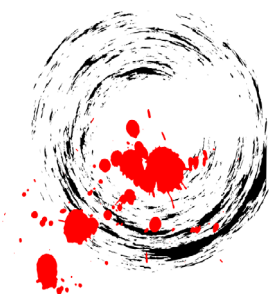
第三に、仮に核抑止論が主張するように、核兵器不使用の状況が続くとしても、それは決して心安らかな真の平和からは程遠い、心理的な不安・恐怖に苛まされる似非平和でしかありません。

まず、事故の不安があります。簡単に起爆装置が作動しないようににされているとはいえ、実際には、「ブローケン・アロー」といつて爆撃機や原子力潜水艦の墜落・沈没事故が、アメリカでは一九五〇～一九八〇年間だけでも三二件発生し、うち六件は今日に至るまで核弾頭が回収されていません。特に一九六一年ノースカロライナ州でB五二爆撃機の墜落で落下した

核爆弾は、四つの起爆システムのうち三つまでが作動していたとのことでした。また、ボタンを押す最高権力者を制御するシステムはないと言われています。ヒトラーのような向こう見ずな、核抑止など顧みない権力者が出てこない保証はないのです。

第四に、核抑止論は、必然的に無限の核軍拡競争を促進する論です。近現代の戦争は、「防衛のため」の軍拡競争の果てに引き起こされています。核抑止論は、使用しないために使用可能性を極限まで高めるということになります。これほど矛盾そのものの非論理的な論があるでしょうか。

第五は、テロリストと核抑止論です。テロリストは固有の国や国民を有していません。彼らが核兵器を手に入れた時、命知らずの彼



らにとつて、核抑止論は何の脅しにもならないことは言うまでもありません。

拡大核抑止とは何か

最後に日本など非保有国が保有国の核の傘に入る拡大核抑止の問題を考えてみましょう。拡大核抑止は、核保有国の非核化にとつて足かせとなることです。

二〇一六年、オバマ政権が「核先制不使用宣言」を検討していたところ、日本政府が「それでは核の傘は弱体化する」と強く反対したので、宣言が見送られた事実があるのです。他方、核の傘に入っている国も、「巻き込まれ」「見捨てられ」のリスクがあります。「巻き込まれ」は、例えば、台湾をめぐり軍事紛争が激化したとき、日本は中国の中間距離ミサイルの餌食になりかねません。「見捨てられ」は、いざという時になつたら、傘を外される危険性です。かつてアメリカの外交政策を指南した大物フィクサー、キッシンジャーは、「米国は、西半球以外の国（例え

「日本」は守る価値がない」と言いました。非人道的で非論理的な核抑止論に輪をかけた拡大核抑止論には、安全保障よりリスクのほうが大きいと言えます。

核廃絶は夢物語か

以上、核兵器の存在や核抑止論を批判してきましたが、「ヘーゲルは、存在するものは合理的と言っているのではないか」とか、また「あの三島由紀夫は『美しい星』で核廃絶の理想主義者は空しくなるし、一般人は日々の生活に追われ無関心と指摘しているではないか」と嘲笑したり、現実的には北朝鮮のテポドンが飛んでこないように核の傘に入るのやむを得ないという人も少なくないでしょう。しかし、それは全き真実でしょうか。ノーです。「有始有終」、「生者必滅」と言われているように、始めがあるものは、必ず終わりがあのです。始めのある核兵器にも終わりがありません。

核兵器禁止条約が発効した

核兵器禁止条約(TPNW)が、二〇一七年に国連で採択されたことをご存知の方も多いでしょう。この条約は、二〇一三年に国際世論に押されて開催された「第一回核兵器の非人道性に関する国際会議」などを取り組んでいく中で成立し、二一年一月に批准国が発行に必要な五〇カ国に達して発効しました。そして二四年九月現在、署名九四カ国、批准七三カ国に達しています。他方、ある意味当然とはいえ残念ですが、米・ロ・中など核保有の九カ国と保有国と同盟関係にある日本・韓国、NATO諸国などは参加していません。不参加の理由の一つに核抑止の有効性が挙げられています。また、非保有国が保有国に核兵器の禁止を求めることに意味がないとも主張されています。そうでしょうか。核実験・核兵器の行使は国境を越えて惨禍を及ぼします。非保有国には、安全保障上、保有国に核兵器の廃絶を要求する権利があるのではないのでしょうか。

日本では、核兵器廃絶を求める国民世論と運動は、日本被団協のノーベル平和賞受賞を機に盛り上がってきています。政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書採択は七二七地方議会で全議会の四〇%に上り(二五年四月七日現在)、署名はほぼ三〇〇万筆に達しています。にもかかわらず、日本政府は、令和七年『防衛白書』が述べるように、アメリカの軍事戦略にますます従属して、アメリカの核の傘への依存を強め、大軍拡と核抑止力の強化を図っています。

ロシアやイスラエルの暴挙などを機に国際的な緊張が高まっている今日、核兵器廃絶が簡単に進むとは思えません。しかし国連加盟の九四カ国もが署名している核兵器禁止条約が発効している今日、私たちは日本政府に対して、唯一の被爆国にふさわしい「非核の政治」、まず核兵器禁止条約への参加を強く求めていくべきではないかと思うのです。

(二〇二五年九月二二日)

★読者のみなさまへ★

一票で変える女たちの会では、「かわらばん」発行のお知らせや投稿募集、憲法集会などの情報を不定期に配信専用のメーリングリスト(ML:1votewoman@1pyo-dekaeru)でお届けしています(2025年10月から@以降を変更しました)。

このMLが届かない場合、迷惑メールとして処理されている可能性があります。お手数ですが、迷惑メールボックスなどをチェックして、受信箱に戻すか、「迷惑メールではない」をクリックしていただきたく、お願いいたします。

また、会からのMLが不要の方、アドレスの変更や新たな登録を希望される方は、1pyodekaeru@gmail.com までお知らせ下さいませよう、お願いいたします。



小説『フランケンシュタイン』と、 作者メアリ・シェリーのこと

江崎泰子

それは、なんとなくつけていたテレビ画面から偶然耳に入ってきた映画のセリフがきっかけだった。

「俺はただ誰かに愛してほしかっただけなんだ。なのになぜ、人間どもは俺の姿を見て恐れ、嫌

悪するの……」。ロバート・デ・ニーロ扮するおぞましい姿の怪物が、迫真の演技で画面から訴えかけてくる（監督：ケネス・ブラナー、一九九四年）。

さらにその後も、奇怪な容姿のせいでいかに虐げられ、排除され、人目を避けて生きて来ざるを得なかったか、切々と訴えかけるセリフが続く。

えっ、『フランケンシュタイン』って、こんな映画だったわけ?!

古くはボリス・カーロフ演じる異形の怪物像から始まって、繰り返し映画化されてきた『フランケ

ンシュタイン』。私自身、これまで古典的な恐怖映画という印象しかなかった。しかし……、人の心の本質に迫るようなセリフを聞いていると、どうも単なる怪物ものではないらしいと、原作を読んでみたくなってしまう。

“怪物もの”を超えた、人間の本質に迫るストーリー

『フランケンシュタイン』はメアリ・シェリーというイギリスの女性作家によつて書かれている。しかし一九世紀の初めに、しかも一九歳の若さで書いたとは思えないほど、現代にも通じるテーマと深い考察に満ちていた。

フランケンシュタインという呼び名は、一般に怪物をさすように使われているが、実際は彼を生み出した科学者、ヴィクトール・フ

ランケンシュタイン博士の名前で、彼が生命の神秘に魅せられ、墓場から掘り出した死体をつなぎ合わせて作ったのが、“怪物”。しかしそのあまりにも恐ろしくおぞましい姿に、博士は彼を遠ざけ捨て去ってしまう。仕方なく人目を避けて野山をさまよう怪物は、五感を研ぎ澄まし、火や道具を使うことを覚え、字を学び、やがて隠れ住んだ小屋から貧しい一家の思いやりに満ちた暮らしを覗き見て、愛情というものを欲するようになる。つまりここでは、人間が人として育つていく成長のプロセスが細やかに描かれているのだ。

そして怪物は言う。「おれの友は、家族はどこにいる？ 子どものおれを見守ってくれた父親もいなければ、微笑みや愛撫を与えてくれた母親もいない。（中略）いつたい自分は何者なのだ？」（『フランケンシュタイン』芹澤恵訳 新潮文庫より）

この悲痛な叫びは、作者メアリ・シェリーの生い立ちが反映されているのではないかと、私は想像する。後述するが、彼女の母は娘を

生んで一〇日後に亡くなり、父の手で育てられるが、その父が再婚した相手とは折り合いが悪く、かなり孤独な少女時代を送ったと伝わる。

そしてまた最後まで名さえ与えられていない怪物も、求めてやまなかった愛情を得られないまま異形の者として人間社会から排除され、次第に憎悪を募らせ、とうとう博士の大切な人々を次々と殺してしまう……。

初版に著者名も出せなかったメアリ・シェリーの人生

これが小説『フランケンシュタイン』のアウトラインだが、ここには現代の私たちが直面しているテーマがかなり色濃く反映されている。子どもが育つときに受けるネグレクトや虐待の影響、異質な者への社会的排除や差別、そうした環境にさらされた末に生まれる憎悪や暴力……。

また同時に、産業革命を経て、工業化や科学技術が発展する当時のイギリスにあつて、メアリ・シェ



リーはこの小説を通して、自ら生み出したものに対する科学者の責任や、進歩と人間の幸福について、多くの疑問を呈しているようにも感じる。これもまた、原爆や核兵器、AIなどといった最新テクノロジーと対峙している私たちに向けられている問いと同じではないだろうか。

こんな小説を、一九世紀のはじめに、しかも一九歳で書いたメアリ・シェリーはどんな女性だったのだろうか。

昨年出版されたメアリ・シェリーに関する評伝(『メアリ・シェリー／フランケンシュタインから〈共感の共同体へ〉 シャーロット・ゴードン著 小川公代訳 白水社』)によれば、彼女は自由主



メアリ・ウルストンクラフト『女性の権利の擁護』Kindle版
*編集注を参照

義思想家の父ウィリアム・ゴドウィンと、創世期の女性解放論者として知られ、『女性の権利の擁護』を表したメアリ・ウルストンクラフトの娘として生まれた。母はメアリの生後すぐに亡くなったが、母の著作物から大きな影響を受けて育つたと伝わる。

まだ一〇代のときに、ロマン派の詩人シェリーと出会い、駆け落ち。シェリーが既婚者だったため、未婚で彼の子を産んでいる。『フランケンシュタイン』を執筆したのは、一九歳の時と言われているが、当時は女性が怪奇小説を書くなど前例がないうえに、保守的な社会から逸脱した彼女の生き方は批判を浴び、初版では著者名を出せなかったという。

その後、シェリーが事故で亡くなったあとも、シングルマザーとして家計を支え、多くの小説や評

論を執筆。近未来を予測するようなディストピア小説もあったようだが、多くは女性の権利や自由な生き方に主軸を置いた作品だった。

彼女の作品や業績は、現代になつて次第に再評価されるようになってきたが、翻訳されているものはまだそう多くはない。

メアリ・シェリーの例にもれず、文学の世界でも音楽や科学の世界でも、偉業を成し遂げたにも関わらず、歴史の闇に埋もれてしまった女性たちは少なくない。私個人は、アートの関係の仕事をしているので、少しでもそうした女性たちに光を当てることをしたいと思っている。それが、今の自分たちを励ます力にもなるのだから。

(二〇二五年一〇月一日)



*編集注

「フランケンシュタイン」を題材にした映画は数多い。うち本文中に言及のある作品は、

1931年 ジェームス・ホエール監督、ボリス・カーロフ(怪物)

1994年 ケネス・ブラナー監督、ロバート・デ・ニーロ(怪物)

書籍『フランケンシュタイン』

芹澤恵訳 新潮文庫版 2014年

小林章夫訳 光文社古典新訳文庫版 2010年

青空文庫版 底本 穴戸儀一訳 1953年 日本出版共同株式会社

メアリ・ウルストンクラフト『女性の権利の擁護』

書籍版 白井堯子訳 未来社 1980年

Kindle版 2025年 Amazon Services International LLC

丹羽雅代

一九二九年の世界大恐慌で日本経済は大きな打撃を受け、農村部では人余りが激しかった。そこで出てきた物語が日本の占領地、満蒙の開拓だった。二〇年間で全国から一〇〇万戸五〇〇万人を送り出そうという計画だったという。

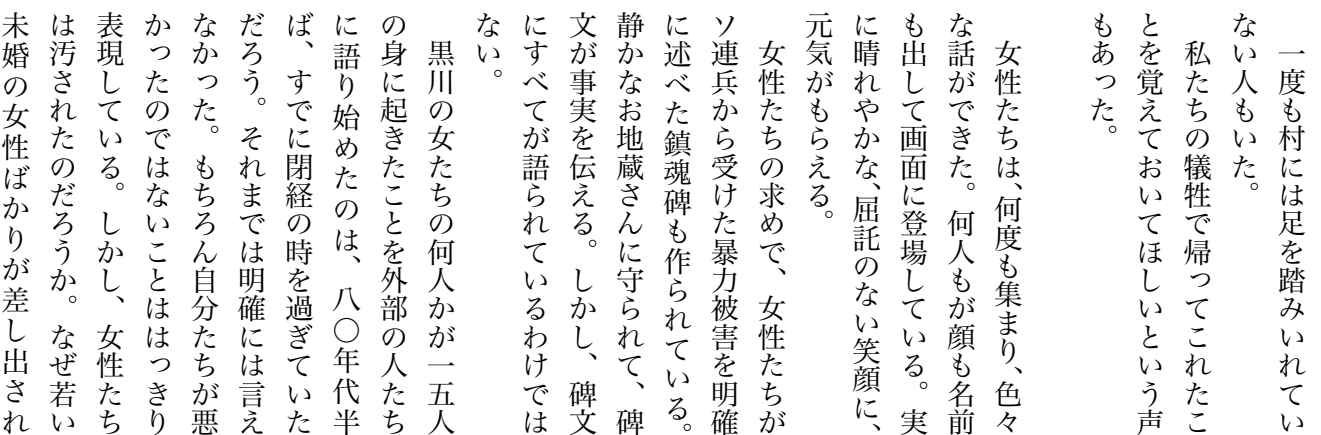
日本から満蒙開拓に渡つた人たちは、さまざまな経験を強いられている。映画『黒川の女たち』が描いたのは、岐阜県白川町黒川村の女性たち。黒川村から満州に渡つた人たちは六〇〇人余。若い女性たちも多かった。そのうち敗戦を経て無事に帰国できたのは四〇〇人余。

当事者の女性たちがひそやかに声を上げ続けてきたことが、周囲の人たちを動かし、女性監督に

日本の敗戦を前に、現地の人々やソ連兵による暴行を恐れて、多くの若い女性たちは頭を丸坊主にしたり、一人では外に出ないようにしたという。守ってくれるはずの関東軍の姿はいち早く消えていた。全員が集団自決した村もあった。

二カ月間ほどでソ連兵はいなくなり、一年後には、帰国船に乗ることができた。

しかし、帰国後のほうがよほどつらかった、と語る当事者もいた。黒川を出るようにと言われた人もいた。



たのだろうか。なぜ彼女たちはN
O！を言うことはできなかった
のか。村中の人たちの生存が
かかっていた。

若くても既婚の女性が入って
ない。女性にとっては自らの性的
価値は自分が決めるのではなく、
外部から決められていた（る）。
自分の体の持ち主は自分ではな
かった（ない）。
これはいまでも同じだ。法律的な
問題ではなく。

映画の画面でなく、実際の村ま
でいつか行けるかなあ。

（二〇二五年一〇月一〇日）

【お知らせ】

Colaboが新しい プロジェクトを立ち上げ

二〇一一年の設立から一四年に
わたって性搾取や暴力にさらされ
ている若年女性の支援を継続して
きたColabo。しかしここ数年彼
女たちの運動に対する男たちのデ

マや誹謗・中傷は激しさを増し、
いま新宿・歌舞伎町には性搾取業
者が溢れ、全国各地、さらに海外
から買春者が集まり、被害にあう
少女が後を絶たない状況となっ
ている。

声を上げた女性への攻撃が強ま
るなか、Colaboでは差別と暴力
に抗う女性たちの活動拠点を作る
ため、「女性人権センター」建設
プロジェクトを新たに立ち上げ
た。

二〇三〇年、日本一性搾取が深
刻な街、新宿・歌舞伎町に、女性
たちの力でゆるがない活動拠点を
作りたいとの思いで、協力が呼び
掛けられている。「女性人権セン
ター」は「性搾取・女性差別に抗
う女性たちが出会い、つながり、
ともに活動していく女性運動の基
盤となる」ことを目的として、「男
社会からの暴力に屈しない女たち
の活動拠点」「虐待や性搾取の中
にいる少女たちとつながり、支え
る活動拠点」「性搾取や女性差別、
女性の人権に関する学習・交流拠
点」「若手活動家の活動拠点」の
実現を目指すとしている。

多くの皆さんからのご支援をお
願いします。

詳細は以下から。

<https://congrant.com/project/colabo/17660>

◆ ゆうちよ銀行からの振込

記号：11310

番号：13950251

名義：シヤ）コラボ

◆ 他行からの振込

ゆうちよ銀行

（金融機関コード：9900）

店番：138

口座種目：普通

店名：一三八（イチサンハチ）店

口座番号：1395025

名義：一般社団法人 Colabo

性搾取と女性差別に抗う女性たちの活動拠点を作る
「女性人権センター」建設プロジェクト

性搾取と女性差別に抗う女性たちの活動拠点を作る

「女性人権センター」
建設プロジェクト
建設資金ご寄付のお願い



『一票で変える女たちの会』かわらばん
★印刷版をご希望の方は左記FAX、メール、ホームページの問合せ
欄からご連絡ください。

★投稿大歓迎！

本や映画の紹介、地域での活動報告、
選挙や地域の政治の動き、情報、ご意見、
なんでもお寄せください。

宛先

Email：1pyodekaeru@gmail.com

郵便：〒162-0823

東京都新宿区神楽河岸1の1

東京ボランティア・市民活動セン

ターメールボックスNo. 45

FAX：03-5684-1412

HP: <https://1pyo-de-kaeru.com>

★カンパのお願い

私たちの活動に賛同する皆さん、ぜひ
カンパを！

郵便振替口座：

記号番号：00110-6-420003

口座名称 一票で変える女たちの会

イッピョウデカエルオンナタチノカイ

銀行等から振り込む場合：

店名（店番）〇一九（ゼロイチキユウ）

店（019）

預金種目 当座

口座番号 0420003

